

令和元年 第 2 回 (6 月) 大 郷 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

目 録

1. 佐藤 千加雄 議員
 - 1) 新設された「まちづくり政策課」の事業について
 - 2) 本町の人・農地プランの実施状況について
 - 3) 石綿セメント管更新について

2. 和賀 直義 議員
 - 1) 健康長寿への取り組みについて
 - 2) 危険な道路の安全対策について
 - 3) 認定子ども園へのスムーズな移行について

3. 熱海 文義 議員
 - 1) 住民バスの停留所について
 - 2) 物産館の 2 階和室の利用について
 - 3) 縁の郷について

4. 石川 壽和 議員
 - 1) 外国人就労者の受け入れ態勢について
 - 2) 「道の駅おおさと」について

5. 高橋 重信 議員
 - 1) ひとり親の雇用先の確保について
 - 2) 町による給水管設置で移住定住推進を図るべきでは
 - 3) 高崎団地の不明朗な分譲宅地造成工事等を調査すべきでは

6. 若生 寛 議員
 - 1) 大窪城址公園進入路整備について
 - 2) 役場のコンパクト運営の現状について

7. 千葉 勇治 議員
 - 1) たかが対象子ども 150 人の国保税均等割免除検討のその後について
 - 2) 各行政区長より平成 30 年度に出された意見・要望に対する町側の取組状況について
 - 3) 町民体育館の今後について

8. 大友 三男 議員

- 1) 民間が整備した道の駅西側駐車場について
- 2) 人口減少対策について
- 3) 住民バス運行について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新設された「まちづくり政策課」の事業について</p> <p>町は「創造」と「実践」の理念を持ち、何事に対しても積極果敢に取り組むとのことであるが、新しく設置された「まちづくり政策課」が取り組む事業について伺う。</p> <p>(1) これまでの「空き家バンク」の成果と現状、新しく開設された「空き地・空き家バンク制度」の概要と今後の進め方。</p> <p>(2) 公民連携による地方創生事業の概要と今後の取り組み。</p> <p>(3) 町のブランド化に向けた、広報活動。(広報紙「田園移住ライフスタイル」の活用など)。</p> <p>(4) 後継者対策、婚活イベント・婚活事業の内容と取り組み。</p> <p>(5) 新交通システム「ふれあい号」の概要と運行状況。今後の本格運行に向けた課題。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 本町の人・農地プランの実施状況について</p> <p>農業後継者不足により、今後の農業経営に大きな問題が発生することは予測できる。農地活用も含め対策が急務であると考え。人・農地プランの実施状況を踏まえた今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 今後、地域の中心となる経営体(担い手)の状況。</p> <p>(2) 中間管理機構の活用実績と活用方針。</p> <p>(3) 将来の農地利用のあり方。</p> <p>(4) 農業後継者の実態の把握。</p>	
<p>3. 石綿セメント管更新について</p> <p>平成9年度から計画的に更新されている石綿セメント管、現在の進捗率は80.1%である。終了まであと14年が必要との説明があった。様々な交付金事業等を活用し更新に努めるとのことである。他の水道管や施設の更新も計画されているが、早期に完了されたい。町長の所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 健康長寿への取り組みについて</p> <p>人生100年時代を迎え、加齢に伴う虚弱化（フレイル）を遅らせ、「健康寿命」の延伸を図ることが喫緊の課題だ。以下伺う。</p> <p>(1) 虚弱化の予防（フレイル予防）の具体的取り組み。</p> <p>(2) フレイル予防についての普及・啓発はどのようにしているのか。</p> <p>(3) 高齢者健診に生活機能評価項目（低栄養、休まず歩ける距離、歩行速度、片足立ち、人とのつながりなど）を追加すべきではないか。</p> <p>(4) 楽しく取り組み、毎日記入できる「健康応援手帳」のようなものがないか。</p> <p>(5) 健康寿命の目標設定が必要と考えるが。</p> <p>(6) 健康づくりの拠点、水泳などの運動ができる環境が必要と考えるが。</p> <p>(7) 人のためにつくすことが健康につながるので、ボランティアポイント制度、健康ポイント制度を実施できないか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 危険な道路の安全対策について</p> <p>全国的に歩行者が犠牲になる痛ましい事故が続いている。本町では、死亡事故ゼロを継続しているが、子供と高齢者の方の安全な通行の確保のため、以下伺う。</p> <p>(1) 園児・児童が散歩等で日常的に利用する道路の点検は行ったのか。</p> <p>(2) 通学路の総点検、通学路交通安全プログラムの進捗状況は。</p> <p>(3) 高齢者の免許自主返納を促す環境づくり、交通機関の割引の特典（終身無料乗車券）などの付与ができないか。</p> <p>(4) 「生活の足」としてどうしても車が欠かせない高齢者の方には、先進安全自動車（ASV：自動ブレーキ、ペダル踏み間違え時の急加速を防ぐ機能搭載車）の購入支援をする考えはないか。</p>	

3. 認定こども園へのスムーズな移行について

移行方針の作成、保護者説明会・三者協議会の継続実施等認定こども園への取り組みがなされているが、スムーズな移行確認のため、以下何う。

- (1) 移行方針で建物は無償譲渡又は無償貸し付けとなっていた。無償譲渡した場合、運営法人が何かの理由で運営できなくなった場合の建物の使用はどうなるのか。
- (2) 幼児教育の無償化になった場合、保育の待機児童の見込みをどう見ているのか。
- (3) 3歳までは愛着形成時期のため、家庭で保育をしたい方へ「家庭で保育応援事業」を創設し手当を支給する考えはないか。
- (4) 三者協議会で出された課題は何か。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 住民バスの停留所について</p> <p>住民バスについて、道の駅内の停留所は、現在開発センター玄関脇の軒下にベンチがあるだけだが、住民から待合室などの設置の要望がある。冬はもちろん夏でも朝などに風が吹けばとても寒い状況である。また乗り継ぎの時でも待機している時は、とても寒くて大変だとのことなので、待合室を設置すべきと考えるが、町長の所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 物産館の2階和室の利用について</p> <p>(1) 物産館の2階和室の使用について、これまでは、場所だけを提供する方向で、食事は仕出しなどを考えているとのことであったが、改める考えはないか。</p> <p>(2) 2階へ上がる手段は階段だけしかなく、エレベーターは耐震的に使用ができない状況である。今後、エレベーターをどのようにしていくのか伺う。</p>	
<p>3. 縁の郷について</p> <p>縁の郷について、以前、縁の郷を中心としたエリアに、養蜂でロイヤルゼリーを生産する企業が立地することだったが、進捗状況はどうなっているのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 外国人就労者の受け入れ態勢について</p> <p>全国的に人手不足と言われている。各分野で海外からの就労者を雇用しているのが現実である。本町でも、最近、ある会社でベトナムから15名を受け入れており、6月には、ある会社で、ミャンマーから3名の従業員を雇用すると聞いている。今後、大松沢に展開する三農業法人では200名を超える雇用が生まれると聞いており、外国人の就労者がかなりふえると予想される。地域の人達から、不安の声も聞こえている。</p> <p>以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在、本町の外国人登録者は、何名か。</p> <p>(2) これまで、トラブル等はなかったのか。あったとしたら、どんな内容で、どう対処したのか。</p> <p>(3) 言葉や生活習慣（特にゴミの分別・出し方）等、どう対応するのか。</p> <p>(4) 受け入れ対応策をあらかじめ作っておく考えはないか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 「道の駅おおさと」について</p> <p>リニューアルして半年が過ぎようとしている「道の駅おおさと」、過般、おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会で、リニューアル後の売り上げ等を聞いた。売り上げは、伸びてはいるが、産直品の売り上げが伸び悩んでいると思う。私は、道の駅の良悪は、野菜の品揃え、陳列が全てと言っても過言ではないと思っている。品目ごとの陳列、品切れを極力減らす、品質管理、開店までに陳列を終わらせる等をクリアすれば、売り上げはついてくると思っているが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. ひとり親の雇用先の確保について</p> <p>本町のひとり親世帯数は、現在多くなっていると思われる。他市町村と違い企業が少なく雇用先が乏しい本町において、ひとり親家族が安心して暮らせる雇用先の確保に企業誘致が必要と強く考える。町長の所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町による給水管設置で移住定住推進を図るべきでは</p> <p>農村地域である本町は、上水道の本管から台所までの給水管の長さが数百メートルに及ぶところもある。また、設置されている管が細い所は水圧が低くなり、お互い不便に感じる地域である。知人や身内に土地を譲り、住宅の建築を促すが、給水管設置費の検討に入ると他町村の分譲住宅へと移られてしまう。</p> <p>町民が給水管の設置を強く要望される所に対しては、町による布設等の工事を行い、人口増を図るべきと考えるが、町長の所見を伺う。</p>	
<p>3. 高崎団地の不明朗な分譲宅地造成工事等を調査すべきでは</p> <p>造成工事を1～10工区に分散発注を行い経費増、宅地分譲の造成工事に関して20区画の工事費が約2億円、坪単価14万3千円の高額な事業を行う。本町の宅地の販売単価は4万円～7万円が相場と考える。</p> <p>定住促進による人口増を図るとしたが、当初からの赤字事業とした取り組みは、他の自治体ではありえない。</p> <p>高崎団地の工事に関しては、町民から信頼が得られない事業である。町でしっかりと調査を行い町民に説明をすべきと考えるが町長の所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大窪城址公園進入路整備について</p> <p>平成 29 年 12 月定例会において、この件について取り上げた際、「利用者の利便向上に努める」との事であったが、現在の進捗状況を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 役場のコンパクト運営の現状について</p> <p>選挙公約の重点政策のひとつとして「町の財政健全化、町政・役場の見える化を推進」の中に「サービス行政の充実、役場のコンパクト運営を推進」とあった。それを踏まえ、次の点を伺う。</p> <p>(1) 平成 30 年 4 月、社会教育課を新設している。これはコンパクト化なのか伺う。</p> <p>(2) 今年 4 月に公民連携室(大郷町地方創生推進連携協議会)を開発センターに事務室を設置し設立している。機関をふやし、コンパクト化に逆行しないのか伺う。</p> <p>(3) 職責に応じた適正な職階配置の必要性として、7 級制を導入し参事を 2 名とした必要性を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. たかが対象子ども 150 人の国保税均等割免除検討のその後について</p> <p>3月議会で、収入の少ない子育ての盛んな親年代の負担軽減を図る観点から、高校卒業まで均等割免除を提案、町長は「今、子育て支援、若者定住によって子どもをふやそうという施策をとっている矢先なので、千葉議員が言う大郷独自の制度はありがたいと思う内容だ」という答弁をいただいている。このことについて、その後どのような検討がなされているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 各行政区長より平成 30 年度に出された意見・要望に対する町側の取組状況について</p> <p>平成 30 年度における地区担当職員の活動報告内容では、町に対し 22 行政区から、146 点にわたり意見・要望が出されている。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 各担当職員から提出された区長（区民）からの意見・要望に対し、町執行部は庁舎内全体でどのような流れで検討し対応しているのか。</p> <p>(2) これまで出されている平成 30 年度の意見・要望に対する進捗率と、保留されている主な案件内容、さらには今後の工事見通しについて伺う。</p> <p>(3) 一方、出された意見・要望に対応した結果（保留も含む）について、行政区長にどのように伝えているのか。</p>	

3. 町民体育館の今後について

議会報告会で「大郷町民体育館」を残してほしいという強い要望が出された。総務産業常任委員会では、平成29年6月議会で、「町民体育館と中央公民館の傷みが全体的にひどい。これらは将来の町づくりを見据え、安全・安心が確保できる施設となるよう、改修・改善、あるいは新築を含め早期検討を求める」という意見を町側に提出している。

その後、町では、検討した結果として町民体育館については費用をかけず、いずれ解体する方向で進めるという答弁を議会ですべていただいている。しかし、地元の声としては「床さえ直せばまだまだ使える。どうしても解体するなら、あの場所に規模の小さい施設でもいいから、また体育施設を建ててほしい」という意見があった。改めて町の方針について、また、解体計画とその後の対応策として町民体育館に代わる施設整備計画があるのかどうか示されたい。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 民間が整備した道の駅西側駐車場について</p> <p>(1) 「道の駅おおさと」リニューアルオープンに向け、道の駅西側の農地を地主の方から民間会社が買い上げ、駐車場として整備した土地を、昨年6月議会で「おおさと地域振興公社が借りる」と説明があり、リニューアルオープンから現在まで「おおさと地域振興公社」が無償で借りてきた経緯があるが、なぜ町が購入すると変わったのか伺う。</p> <p>(2) どのような基準で工事が行われたのか内容を伺う。</p> <p>(3) 駐車場の面積、坪単価等、購入予定総額はいくらか。購入価格をどのような基準で算定し、決定したのか根拠を伺う。</p> <p>(4) 町と地主の方の間に民間会社を入れずに、最初から当時の地主の方から町が直接農地を買い上げて整備すべきであり、整備の仕方によっては民間が整備した駐車場を購入するより安価な費用で済んだのではないか、町長の認識を伺う。</p> <p>(5) 本来、町が土地を購入し駐車場を整備する場合、購入金額や工事費用などは議会の議決が必要であるが、これらの手続きを経ずに駐車場購入に至る経緯に関して、なぜこのような方法をとったのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

<p>2. 人口減少対策について</p> <p>(1) 本町は毎年約 100 人の人口が減少している状況にある。町長は人口減少対策の移住定住促進策として「民間と連携し空き家や空き地などの遊休地を活用し人口増に繋げる」としているが、町内に点在している土地の活用も必要と考えるが、町有地などある程度まとまった土地を活用し、住宅地などの団地を造成した方が移住定住促進に繋がると考えるが、町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 本町は、宮城県内でも子育て支援に関しては、先進自治体と考える。しかし、ほとんどその内容が外部に知られていないのが実態で、子育て世代の移住定住を促進するために、ホームページや広報紙だけの情報発信以外に、宮城県のアンテナショップなどに協力いただき広く全国に大郷町の子育て支援策をPRすべきと考えるが、町長の所見を伺う。</p> <p>(3) 人口減少対策として、現在町内に住んでいる将来を担う若い世代の定住施策や、子育て世代に対して子育てしやすい環境などの施策を、重点的に行うべきと考えるが町長の所見を伺う。</p>	
<p>3. 住民バス運行について</p> <p>(1) 今年 1 月から 6 月現在まで、何件苦情があり、苦情に対してどのような対策を講じたのか伺う。</p> <p>(2) 今後利用者の方々が安心して利用できるためにどのような対策を講じるのか伺う。</p> <p>(3) 住民バスの利用価値を高めるため、町民が望んでいる「土曜、日曜、祝日」の運行を行う必要があると考えるが、町長の所見を伺う。</p>	